



日本体育協会公認  
茨城県スポーツ指導者協議会

# 会報

第 67 号

平成25年7月31日

発行人  
茨城県スポーツ指導者協議会  
会長 照 沼 一 美  
事務局 〒306-0204  
古河市下大野1463-4  
事務局長 鈴 木 義 夫  
会員数 1,058名 (H25.2.1現在)



総会 (平成 25 年 4 月 28 日(日) 水戸市・内原中央公民館)

日本体育協会公認  
スポーツ指導者のために

資質向上と  
活動の推進を

連帯感を深め  
組織的活動を

## 目 次

会長あいさつ.....	2
茨城県スポーツ指導者協議会	
功労賞受賞者あいさつ.....	2~4
平成24年度収支決算報告書.....	5
平成25年度収支予算書.....	5
平成25年度本協議会事業計画書.....	6
支部だより.....	7・8

あいさつ



茨城県スポーツ指導者協議会会長  
照沼 一美

スポーツ指導者協議会会員の皆様、ご機嫌いかがでしょうか。平成二十五年年度事業実施に当たり、会員の皆様と伴に本協議会が発展されますよう、願いを込めたいさつ申し上げます。

平成二十五年四月二十八日の総会において、報告事項を二件ご承認いただき、審議事項は新年度の事業計画、収入予算、本協議会規約の一部改正、そして二十五年年度二十六年度の役員会改正が審議され、賛成多数でご承認を賜りました。

このことにより、茨城県スポーツ指導者協議会は県内六支部との充実した運営に向けスタートいたしました。県内各支部はもちろんであります。茨城県スポーツ指導者協議会会員の皆様におかれましては、各支部から発信されます研修会等の最新情報取得され積極的に研鑽されますよう、あわせて支部へのご協力を賜りますようお願いいたします。

この近年、特に事件化されまし

たスポーツ界の体罰・暴力行為が社会問題として注視されました。その中で、特に女子柔道界における指導者による選手への暴力行為が引き金となり、平成二十五年四月二十五日、

公益財団法人日本体育協会  
公益財団法人日本オリンピック委員会

公益財団法人日本障害者スポーツ協会  
連盟

公益財団法人日本中学校体育連盟  
により「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」が全国から日本青年会館大ホールへ参加集合した、

スポーツ指導員の各都道府県代表およびスポーツ関係者約八〇〇名に提言され、参加者全員一致で採択されました。(宣言文については公益財団法人日本体育協会のホームページに掲載されております)

一方、茨城県では平成二十五年五月十七日、「体罰防止マニュアル」を茨城県教育委員会により発表されました。「体罰は暴力」と位置づけされました。過去の体罰事例とその対応方法の研修資料が添えられました。

これらの状況のなか、我々公認スポーツ指導者は今後の指導現場

において、閉塞的に陥ることなく高度な指導力を駆使し、スポーツの楽しさと文化の向上に精進努力したいものです。

公認の有資格者であるスポーツ等の指導者は、これらのことを真摯に受け止め、次元の高いより良い指導者として指導方法を研磨され、理想の指導者への道を歩みますようご期待申し上げます。

茨城県スポーツ指導者協議会  
スポーツ指導者功労賞

受賞者あいさつ



大子町  
堀川 一幸

平成二十五年年度茨城県スポーツ指導者協議会総会に於いて当協議会公認スポーツ指導者功労賞受賞は大変嬉しく、身に余る光栄です。推薦を頂きました県スポーツ指導者協議会中央支部及び関係各位に對して心より御礼申し上げます。

スポーツ大好きな私と指導者資格との出会いは地域スポーツ少年団指導に係わるようになりソフトボールC級指導員を取得し地域の

子供達を指導してまいりました。五十才を過ぎたころ家庭の事情によりスポーツ少年団の指導者を退きました。が、地域社会、生涯スポーツのために一人でも多くの人と一緒に健康づくりができる様に現在は地域のシニアソフトボール団に所属活動中ですので、今後共ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。





常陸大宮市

高村 卓雄

この度平成二十五年度の県指導者協議会より表彰を賜りましたが、この件に付きましては県は勿論のこと、中央支部の方々の多大なるお骨折のお陰だと深く感謝致しております。私は只、資格を取得して以来好きな空手道を五十年間継続しただけの事ですが、その間、県・支部が催す研修会、講習会等に参加させて頂き多少なりのお手伝いをさせて頂きました。この事でございます。県はこれからも頑張つてやれ、との意味での表彰と思ひますので、古稀は過ぎましたけれどもあの曹操の云われた烈士の暮年壮心己まずの気概を持って進んで参りたいと思ひます。今後共会員皆様のご指導を宜しくお願い致しましてお礼とさせて頂きます。

日立市

梅村 恒雄

平成二十五年度の茨城県スポーツ指導者協議会総会の席上、功労賞を受賞致しました。ご推薦を頂きました関係各位に心より感謝を申し上げます。

昭和四十七年、日立にスポーツ少年団が設立され、翌年、剣道の恩師から、地域少年団の指導を依頼され、現在は、地元少年団の代表として関わっております。

当時の指導は、自分が教えて頂いた体験を基に、繰り返し繰り返し基本を中心に教えていきました。やがて、子供達のレベルも上がってくるにつれ、これではいかん、自分自身のレベルも上げなければと思つていた時、恩師から、全国剣道指導者研修会に参加する機会を与えて頂き、指導法など新たな知識、発見と幅がひろがりました。

それから県内の研修会や講習会には積極的に参加するようになり、最新の情報を吸収、少年団活動に生かしております。と同時に、少年団活動に対する想いが強くなり、指導法に対するライセンスは必要不可欠なものと自覚し、認定員・認定育成員・ジュニアスポーツ指導員・公認体力テスト判定員・公認社会体育指導員・剣道上級指導員・アシスタントマネージャーなどの資格を取得しました。

これからも資格を生かして、地域でのスポーツ活動を生涯スポーツとして伝えていきたいと考えております。皆様方のご指導を宜しくお願い申し上げます。



北茨城市

関根 公央

平成二十五年度茨城県スポーツ指導者協議会総会に於いて、スポーツ指導者功労表彰の栄誉に賜りまして、本当に嬉しく身の余る光栄でございます。

茨城県スポーツ指導者協議会県北支部及び関係各位の皆様に対し、心より感謝し御礼を申し上げます。

私は、身体を動かすスポーツが大好きで、地域で短距離・ソフトボール・バレーボール等を選手と指導をやつてきましたが、ママさんバレーボールを指導した時に、資質向上と活動の推進と知識及び情報交換が必要となり、日本体育協会公認スポーツ指導員の資格を取得しました。

指導者としての資質や指導力の向上を図り、研修会や講演会に参加し、自己研鑽し、活動をしてきました。

その後、茨城県スポーツ指導者協議会県北支部に研修会等に参加するようになり、連帯感を深め組織的活動に仲間として参画させて頂き、今日に至りました。

最後に、生涯スポーツ普及に微力を尽くし、努力していきます。

で宜しくお願い致します。本当にありがとうございます。

日立市

藤田 文子

この度、平成二十五年度茨城県スポーツ指導者協議会功労賞の光栄に浴しましたが、これひとえに皆様方の長年にわたるご支援のたまものと心から厚くお礼申し上げます。

微力ながら、私が歩んできた一端を申し上げ、皆様方への受賞お礼といたし筆をとつた次第であります。

高校入学時にソフトボールクラブがなく新任の先生と一緒に設立しました。道具（ボール、バット、グローブ）がみんな新しく輝いて見え、自信を持つてのプレーやルールの大切さと技術指導を頂きました。笑顔を忘れず、とても楽しいチームでした。

卒業後は就職のため、私も友もそれぞれの道を歩み始め、仲間と一緒にソフトボールを行う機会を失い、家庭生活をしながら数年を送っていました。偶然にも学生時代の友人に会い、ソフトボールの楽しさが忘れられず、友人と中心になり昭和五十四年ソフトボールチームを設立いたしました。

チームは、茨城県大会を目標に日々練習に励みました。試合を重ねるごとに気合いが入り、県大会三位に入賞した時もありました。ママさんソフトボールチームを増やすため、翌年に市に働きかけソフトボール教室を開催して頂きました。

その教室参加者がそれぞれの地域に帰ってチームが作られ、昭和五十五年七月に十四チームで「日立市ママさんソフトボール連盟」後、名称が「日立市家庭婦人ソフトボール」に改称）が結成されました。

同年十一月に連盟主催による第一回大会が開催されました。家族の応援を受けてハッスルプレーがあり、珍プレーあり、とても楽しい大会でした。私の所属するチームも優勝する事が出来ました。大会が長続きすることと微力ながらソフトボールの一層の振興が図られることを願い、昭和五十六年に友人と二人でソフトボール指導員資格を取得しました。さらに平成七年一種審判員も取得しました。

お陰で、関東大会や全国大会の審判員として努めることが出来るようになりました。

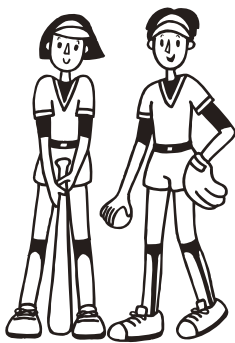
また出かける度に他県の審判員との交流を図ることが出来ました。これらの活動は、私にとって

大きな財産となり、今でもソフトボールだけに限られたことではなく、他のスポーツの主催や実施する時にも活かされています。

時代の流れの中で、スポーツの種類も多くなり自分のライフスタイルに合わせた種目を選択するようになり、家庭婦人ソフトボール人口も一時期よりは減少している現況にありますが、大会は毎年盛会裏に実施されています。

日常生活や文化も日々変化の中で、それぞれの皆様がスポーツを日常化し明るい未来をつくり創造性豊かな人材の育成をすることを願い、ソフトボールを通して県北スポーツ指導者協議会（現茨城県スポーツ指導者協議会県北支部の前身）の設立に参画してから、役員の一員として会計、研修会委員として役割を担っております。毎月の定例会や新年会、自主研修をしながら皆様と親睦を図っています。

健康である限り皆さんと一緒にスポーツを楽しんで行きたいと思っています。



**ホームページを開設いたしました!**

財団法人 茨城県体育協会  
Ibaraki Amateur Sports Association  
www.ibaraki-sports.or.jp  
いばらきスポーツ

イベント情報

コンテンツ・メニュー

- 茨城県体育協会組織
- 団体・選手強化事業
- スポーツ少年団育成
- 公認スポーツ指導者

[www.ibaraki-sports.or.jp/](http://www.ibaraki-sports.or.jp/)

**会員入会協力への  
おねがい**

会員の皆様、有資格者のお仲間、入会をお勧めいただける様、ご協力をお願いいたします。

平成24年度 収支決算報告書 (平成24年 4月1日～平成25年 3月31日)

(単位:円)

収入の部

項目	本年度予算額	今年度決算額	比較増減	備考
1. 会費	920,000	903,000	△ 17,000	4000円×181名・3000円×54名・2000円×8名・1000円×1名
2. 助成金	360,000	360,000	0	茨城県体育協会 (24年度)
3. 繰越金	707,699	707,699	0	前年度繰越金 (23年度)
4. 雑収入	301	8,496	8,195	
合計	1,988,000	1,979,195	△ 8,805	

支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	今年度決算額	比較増減	備考
1. 会議費	192,600	138,219	△ 54,381	
総務委員会	30,000	17,864	△ 12,136	事務用品・切手・葉書・飲み物
常任理事会	20,000	2,862	△ 17,138	事務用品・切手・葉書・飲み物
理事會	50,000	24,893	△ 25,107	事務用品・切手・葉書・飲み物
総務委員会	10,000	10,000	0	委員会活動
広報委員会	72,600	72,600	0	委員会活動
研修委員会	10,000	10,000	0	委員会活動
2. 事務費	580,000	423,521	△ 156,479	
旅費	100,000	91,000	△ 9,000	会議旅費
消耗品費	150,000	112,601	△ 37,399	事務用品・コピー用紙・インク
食料費	20,000	5,920	△ 14,080	食事
印刷コピー費	40,000	22,360	△ 17,640	封筒印刷
通信費	150,000	151,780	1,780	切手
備品費	120,000	39,860	△ 80,140	メモリ・ゴム印
3. 事業費	1,100,000	1,096,328	△ 3,672	
会報印刷費	200,000	198,000	△ 2,000	会報 65号・66号
会報送費	200,000	178,720	△ 21,280	送料・宅配便
研修費	60,000	64,808	4,808	研修会備品
派遣費	60,000	74,800	14,800	全国研修会
県北活動費	100,000	100,000	0	支部活動費
中央活動費	120,000	120,000	0	支部活動費
水戸活動費	70,000	70,000	0	支部活動費
鹿行活動費	90,000	90,000	0	支部活動費
県南活動費	120,000	120,000	0	支部活動費
県西活動費	80,000	80,000	0	支部活動費
4. 予備費	65,400	0	△ 65,400	
5. 雑費	50,000	46,459	△ 3,541	振込手数料・賞状及び額
合計	1,988,000	1,704,527	△ 283,473	

収入合計 1,979,195円  
 支出合計 1,704,527円  
 差引残金 274,668円

※上記のとおりご報告いたします。  
 なお、差引き残金は平成25年度予算に繰越し致します。

平成25年度 収支予算書 (平成25年 4月1日～平成26年 3月31日)

(単位:円)

収入の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 会費	1,000,000	920,000	80,000	4000円×250名
2. 助成金	360,000	360,000	0	茨城県体育協会 (25年度)
3. 繰越金	274,668	707,699	△ 433,031	前年度繰越金 (24年度)
4. 雑収入	5,332	301	5,031	
合計	1,640,000	1,988,000	△ 348,000	

支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 会議費	180,000	192,600	△ 12,600	
総務委員会	15,000	30,000	△ 15,000	
常任理事会	10,000	20,000	△ 10,000	
理事會	25,000	50,000	△ 25,000	
総務委員会	20,000	10,000	10,000	
広報委員会	70,000	72,600	△ 2,600	
研修委員会	40,000	10,000	30,000	
2. 事務費	395,000	580,000	△ 185,000	
旅費	100,000	100,000	0	
消耗品費	100,000	150,000	△ 50,000	
食料費	10,000	20,000	△ 10,000	
印刷コピー費	25,000	40,000	△ 15,000	
通信費	120,000	150,000	△ 30,000	
備品費	40,000	120,000	△ 80,000	
3. 事業費	1,020,000	1,100,000	△ 80,000	
会報印刷費	200,000	200,000	0	会報 67号・68号
会報送費	180,000	200,000	△ 20,000	
研修費	50,000	60,000	△ 10,000	
派遣費	50,000	60,000	△ 10,000	
県北活動費	100,000	100,000	0	
水戸活動費	70,000	70,000	0	
中央活動費	120,000	120,000	0	
鹿行活動費	90,000	90,000	0	
県南活動費	100,000	120,000	△ 20,000	
県西活動費	60,000	80,000	△ 20,000	
4. 予備費	0	65,400	△ 65,400	
5. 雑費	45,000	50,000	△ 5,000	
合計	1,640,000	1,988,000	△ 348,000	

収入合計 1,640,000円  
 支出合計 1,640,000円  
 差引残金 0円

※上記のとおりご提案いたします。

## 平成25年度本協議会事業計画書

### 1. 方針

- 1) 地域住民のスポーツ活動のニーズに対応して、生涯にわたるスポーツ活動への協力と支援を通じてスポーツ指導者の社会的地位向上に努める。
- 2) 資格保有者相互の親睦と連携につとめ、指導者としての資質や指導力の向上を図り、スポーツ活動の推進に努める。
- 3) 公認スポーツ指導者の本協議会加入の促進に努める。
- 4) 地域総合型スポーツ活動への参画に努める。

### 2. 目標

- 1) 本協議会の組織充実を図る。
  - ①本協議会の体制充実
  - ②支部組織の充実
  - ③市町村および競技団体との連携・協調
  - ④有資格者の会員加入に促進を推進する。
- 2) 研修会を開催して、資質と指導力の向上を図る。
- 3) 普及広報活動を充実させて、交流と情報交換を図る。
- 4) 財団法人茨城県体育協会および市町村体育協会事業への協力体制を充実させる。
- 5) 競技団体との連携強化を図る。

### 3. 事業

- 1) 平成25年度公益財団法人茨城県体育協会事業協力
  - ①平成25年度全県研修会(旧・中央研修会)・茨城県会場
    - (1)期日 平成25年8月4日(日)
    - (2)主管 茨城県スポーツ指導者協議会・中央支部および研修委員会
    - (3)会場 水戸市・茨城県立青少年会館
    - (4)参加者 日本体育協会公認スポーツ指導者・各種スポーツ指導者
  - ②平成25年度地区研修会・県西地区会場
    - (1)期日 平成25年12月8日(日)
    - (2)主管 茨城県スポーツ指導者協議会・県西支部
    - (3)会場 古河市・古河ユースセンターそうわ
    - (4)参加者 日本体育協会公認スポーツ指導者・各種スポーツ指導者
  - ③平成25年度地区研修会・鹿行地区会場
    - (1)期日 平成26年2月9日(日)
    - (2)主管 茨城県スポーツ指導者協議会・鹿行支部
    - (3)会場 鹿嶋市・大野まちづくりセンター
    - (4)参加者 日本体育協会公認スポーツ指導者・各種スポーツ指導者
- 2) 平成25年度本協議会会報発行
  - ①会報67号発行
    - (1)発行月日 平成25年7月末日予定
    - (2)製本部数 1200部
  - ②会報68号発行
    - (1)発行月日 平成26年3月中期予定
    - (2)製本部数 1200部
- 3) 平成25年度公益財団法人日本体育協会研修会
  - ①平成25年度全国スポーツ指導者代表者会議全体会
    - (1)期日 平成25年12月13日(金)
    - (2)会場 未定 (3)出席者
  - ②平成25年度公認スポーツ指導者全国研修会
    - (1)期日 平成25年12月14日(土)
    - (2)会場 東京都・TKP ガーデンシティ品川

(3)出席者

- ③平成25年度公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者表彰の推薦表彰受賞者
  - (1)期日 平成25年12月14日(土)
  - (2)会場 東京都・TKP ガーデンシティ品川
  - (3)受賞者 4名予定(本協議会推薦)

④スポーツ界における暴力行為根絶に向けた集い(仮称)の開催

- (1)期日 平成25年4月25日(木)
- (2)会場 東京都・日本青年会館大ホール
- (3)参加者 照沼会長・吉田副会長・鈴木事務局長・梅村理事

4) 平成25年度公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者表彰の支部推薦者

- ①提出期限 平成25年4月20日(土)
- ②推薦者
  - (1)県北支部 (伊東和夫様・佐藤マツ様)
  - (2)水戸支部 (該当者なし)
  - (3)中央支部 (高村卓雄様・堀川一幸様)
  - (4)鹿行支部 (該当者なし)
  - (5)県南支部 (該当者なし)
  - (6)県西支部 (該当者なし)

5) 平成25年度茨城県スポーツ指導者協議会表彰受賞者

- ①期日 平成25年4月28日(日)
- ②会場 水戸市・内原中央公民館第一会議室
- ③受賞者 関根公央様(功労賞)・藤田文子様(功労賞)(5名) 梅村恒雄様(功労賞)・高村卓雄様(功労賞) 堀川一幸様(功労賞)

6) 平成25年度茨城県スポーツ指導者協議会表彰の支部推薦者

- ①提出期限 平成25年4月13日(土)
- ②推薦者
  - (1)県北支部 (関根公央様・藤田文子様・梅村恒雄様)
  - (2)水戸支部 (該当者なし)
  - (3)中央支部 (高村卓雄様・堀川一幸様)
  - (4)鹿行支部 (該当者なし)
  - (5)県南支部 (該当者なし)
  - (6)県西支部 (該当者なし)

7) 平成25年度各種会議等の開催

- ①総会
  - (1)期日 平成25年4月28日(日)
  - (2)会場 水戸市・内原中央公民館第一会議室
- ②常任理事会 2回計画/年予定
  - 会場 水戸市・内原中央公民館二階円卓室予定
- ③理事会 4回計画/年予定
  - 会場 水戸市・内原中央公民館二階円卓室予定
- ④専門委員会
  - (1)総務委員会 3回計画/年予定
    - 会場 古河市・中央公民館一階会議室予定
    - 水戸市・内原中央公民館一階会議室予定
  - (2)研修委員会 3回計画/年予定
    - 会場 水戸市・内原中央公民館一階会議室予定
  - (3)広報委員会 4回計画/年予定
    - 会場 水戸市・会場未定

# 支部だより

## 県北支部

支部長

野内康二

県北支部では、五月二十五日(土)支部総会を開催し、恒例の総会前研修に、今年度は「筑波大学非常勤講師」健康運動指導士「管理栄養士」の小室秀子先生をお願いし、「チューブ体操」を行いました。

「チューブ体操」の効果について先生は、単に筋力をアップするだけでなく、血流のアップ、体脂肪の減少、血糖値、コレステロールの低下等々の効果があると強調され、ご自身の「二の腕」と「ふくらはぎ」を、これもトレーニングの効果だと見せました。そして私たちは、それを見た瞬間、瘦身の麗人の「上腕二頭筋」「下腿三頭筋」の女性らしからぬ盛り上がり、圧倒され、この体操が、筋力のアップや健康の維持に、有効なトレーニングであると信じざるをえませんでした。

トレーニングはどれも同じ様に効果がある。無理をせず自分に合ったスタイルで、何よりも継続することが大切と教えられ、一同納得すると共に、良い研修に巡り合ったことを心より感謝し、総会前研修を終わりました。

総会は、吉沢総務委員長を議長

に選出し、議事、役員改選共に万事遺漏なく進行、今年度の事業計画を次のように決定して、滞りなく終了いたしました。

- ・ 県北支部「平成二十五年事業計画」
- ・ 支部総会 五月二十五日 実施済
- ・ 役員会及び委員会 随時
- ・ 研修会 自主研修 年度内に実施
- ・ 広報 会報「あみくこ」
- ・ 第四十二、第四十三号の発行
- ・ スポーツ保険加入 三月〜随時
- ・ 近隣市町村への協力
- ・ 「日立さくらロードレース」実施済
- ・ 「女性センター祭り」
- ・ 第十四回 常陸太田市市民「グラウンドゴルフ大会」
- ・ 第二十四回 常陸太田市市民「歩け歩け大会」

以上の内容で県北支部は今年度も活動してまいります。会員の皆様には尚一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。これを持って、県北支部の活動報告といたします。

## 中央支部

事務局

野々村律子

平成二十五年度も、無事船出し、今に至っております。事業も討議議決されて、皆様にお知らせ出来るはこびとなりました。

本年度の全県研修会が、県スポーツ指導者協議会研修委員会と、中央支部との合同担当という事になり

ました。平成二十五年八月四日(日)水戸市の茨城県青少年会館に於いて、午後からの受講となりました。内容といたしましては、今年度の

日本体育協会から、スポーツ指導者へ向けての指針の一つとなる、「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」を通して、今の私達指導者がこの項目を顕著に、真剣に受け止めて、よりよい指導者となるべく、研修が出来ればと思っております。

平成二十五年六月十五日(土)中央支部念願である、救命知識習得の継続を、ひたちなか市消防署の御厚情で開催出来ました事を報告させていただきます。

有事の時、誰かが事にあたって居る所に居合わせた時、出来る事を手助け出来る準備を怠る事なく、努力を積み続けたいものと思えます。又新しく救命の勉強を始めたい人達を集い、ひたちなか市消防署を会場に開催出来す旨、快諾を頂きましたので、ありがたい事と感謝しております。

日本体育協会公認指導者として、現状の活動を通じて、将来開催される茨城国体が、良い大会となる事を祈念してやみません。

## 県西支部

事務局長

近藤 康雄

県西支部では四月二十八日(日)、古河市中央公民館にて平成二十五

年度、支部総会を開催致しました。会員一四〇名に対し、主席者九名、委任状九十三名、連絡なし三十八名となりましたが例年通りの少人数での総会になりましたが平成二十四年度の報告、平成二十五年年度の活動計画を審議、承認されました。

- (1) 地区研修会
- 平成二十五年十二月八日(日)古河市ユースセンター総和
- (2) 県西支部研修会

- ① 普通救命講習会
- ② 「勉強会」「講習会」
- (3) 役員会・理事会 随時

(2)の県西支部研修会については、会員全員にアンケートを配布し、参加の有無、開催時期等を答えて頂くようにしました。FAX等で三十名弱の回答が集まっております。少ない回答数ですが今後、役員会理事会を開催し実施に向け進めて行きたいと考えております。

又、今年度は地区研修会開催の当番支部に当たることから「県西地区研修会」の役員会を随時行いたく連絡させて頂く方々には御協力をお願い致します。

総会当日、県西支部会員であり全県体協主査の佐藤先生が出席され、現在、二〇一九年(平成三十一年)茨城国体開催の競技・式典準備室に勤務され現状を少し話されました。県西地区ではデモンストレーション(公開競技)として下妻市で

ソフトボール、古河市ではつな引きが予定されているそうです。各市町村にスポーツ少年団、公認指導者等にボランティアとして参加して頂く様お願いをしているそうです。スポーツ指導者協議会としても六年後の事になりますが進んで協力する事を約束致しました。

**鹿行支部**

支部長  
島田昌和

今年度は、地方研修が二月九日鹿嶋市大野まちづくりセンターで開催されます。多くの方々の参加をお待ちしております。

ここで、鹿行地区のちよつとしたことを紹介します。大野まちづくりセンター近くのはまなす公園には、日本の南限とされるハマナスが今咲いています。

鹿嶋市はアントラーズの本拠地であり、県立サッカースタジアムもありサッカーの街である。サッカーフェスティバルが開催され、子どもたちから高齢者までの各種大会が開催されるスポーツに関心の高い街である。鹿行五市がホームタウンになっている。

最近、湖上の鳥居としては日本一の「二の鳥居」が神宮橋近くに完成した。鉾田市、行方市は農産物出荷額日本一であり、メロン、ミズナ、セリ、五月のしょうぶなど日本一の生産品を多数だしている。鉾田市は野球も盛んである。

行方市ではスポーツチャレンジデーを設け、日本各地の市町村と参加率を競っている。市民の運動スポーツへの関心を高め、健康増進とスポーツ活動への動機づけをしている。潮来市、神栖市では、全日本級のトライアスロンが開催され、参加者も多く盛大である。

水郷県民の森では、四時間耐久リレーマラソンが開かれている。一人ないし四人から六人でチームを編成し一人が何回、何周走ってもいいというルールでもしろうい。

神栖市のビーチバレーボール大会も盛大である。「ぶつちやけ祭り」も二日間に渡るよさこいソーラン踊りの祭りで、北海道からも参加があり、力強い踊りは迫力もあり、にぎやかな祭りである。

鹿行地区では、少年団から高齢者に至るまで、スポーツに対する関心は高く、活動も盛んである。

長寿、健康増進、豊かな生活のためにも絶対必要なのが運動であることは医学的にも生理学的にも証明されている。そして、スポーツ指導者が各地、各所で活躍され、みんなが楽しめるスポーツ。人格形成に役立つスポーツ活動の推進にあたっている。

**水戸支部**

支部長  
吉田広光

今年度、水戸支部の活動は何事

もやれる範囲の中から企画を考えてスタートをしました。

本年度行事計画、水戸支部総会及び、研修会を平成二十五年五月二十五日(土)に茨城県青少年会館で開催し総会においては、提出議案のすべてが賛成多数にて了承を得て終了しました。

午後から開催研修会は、情報提供を大塚製薬水戸出張所山田直広氏、講演の講師に根本一丸氏を迎えて行った。

講演の内容は、情報提供からスライドにより「スポーツ活動中の熱中症予防」

- ①熱中症の救急処置
- ②スポーツ活動中の熱中症予防五ヶ条

③熱中症予防のための運動指針などの運動中の水分の補給の大切さを実感する講演でした。又、根本一丸氏の講演内容は、「スポーツの役割について」

スポーツの歴史・発祥  
スポーツの理由・意義  
スポーツ指導者の役割  
等の内容にてQ&Aを交えて指導の役割・目標の指導者を育てる意義のある講演でした。

事務局より発送いたしました案内状の無回答のものがございませう。日々、ご活躍のことと存じますがご理解のうえ、ご協力をお願い申し上げます。

**編集後記**

第六十七号会報発行に当たり皆様に原稿を賜り心から感謝申し上げます。

ご愛読いただける会報となるよう努力してまいりますので、皆様の忌憚のないご意見をお寄せ頂きたいと思っております。

今回の会報発行は  
平成二十六年三月

**広報委員会**

- 広報委員長  
岡野 秀一
- 広報委員  
佐藤 マツ(県北支部)  
舛井 幸子(水戸支部)  
柏葉 光子(中央支部)  
君和田治也(鹿行支部)  
櫻井 孝之(県南支部)  
又村 和子(県西支部)